

大東市立自転車駐車場 外部評価結果

評価対象施設	大東市立住道駅中央自動車・自転車駐車場 大東市立住道駅前自動二輪車等駐車場
指定管理者名	ミディ総合管理 株式会社
評価対象年度	令和元年度、令和2年度、令和3年度
施設所管課名	都市整備部 都市政策室 交通政策課

- 令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大による社会情勢の変化という特殊な状況下
における評価となる。
- コロナ禍における市の対応として
 - ①令和2年4月・5月の緊急事態宣言時には、学生の定期利用者に対し、施設を使用しなかった
利用者への還付手続きを行い、その金額については、市に収める納入金の額から差引いています。
 - ②令和2年度はコロナ禍による外出控えにより利用料金が前年度比約8割に減収となっています。施
設運営にかかる経費と納入金を合わせて不足する金額については、1/2の額を納入金から差引きし
ました。令和3年度も令和2年度と比較すると利用料金は回復傾向にありますが、引き続きコロナ禍
による外出控えの影響により減収が続き、令和元年度比8割程度の金額となっています。施設運営
にかかる経費と納入金を合わせて不足する金額については、1/2の額を納入金から差引くこととしてい
ます。

1. 指定管理者による自己評価結果に対する意見等

○施設運営の改善点等

- ・各施設とも利用状況に不足のない人員配置や指導員の配置を行っており、協定書・仕様書に基
づく施設運営を行っている。
- ・市が新型コロナウイルス感染症対策として実施した学生等の定期利用料金の払戻しについては、
問題なく還付手続きを行っていた。
- ・利用者のニーズに合わせた提案事業を実施し、利用者満足度の向上を図られたことが評価でき
ます。（インターネットで定期の利用予約ができるシステムの開始、原動機付き自動車ラックの整
備、無料 Wi-Fi スポット設置、電動アシスト自転車の充電サービス開始など）
- ◎事業計画書に記載がある提案事項で、未実施の事業については今後、精査が必要である。

○収支状況等について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全体的に収入が減少となったが、収入減少に伴う
納入金の見直しについて減額協定を締結し、適正に管理運営を行っていた。
- ・コロナ禍において、利用者及び職員との接触機会を減らすため、また利用者には不便をかけない範

困で人員を減らし、人件費の削減に努められたことが評価できます。

- ◎ 今後もコロナ禍の影響が考えられるため、新しい生活スタイルに合わせた効率的な施設運営に努められたい。
- ◎ アンケート調査結果を分析し、より効果的な施設の管理・運営を行うなど、今後の施設の運営に活かしていただきたい。

2. 市（施設所管課）による内部評価結果に対する意見等

○所管課の評価の仕方について

- ・未実施な自由提案については、翌年度評価に反映できるように内部評価を行うべきである。

○指定管理者に対して指導すべきポイント等

- ・適切に管理運営を行っているとはあるが、事業計画書に記載のある項目で実施していない事業がある。市との調整が必要なものであると考えられるが、今後は事業計画の進捗管理を行い、事業の定期的な確認を実施するべきである。

3. 総合評価

- ・協定書・仕様書に基づき、適切な管理運営を行っている。
- ・新型コロナウイルス対策については、各駐車場で新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、安全な施設運営に努めていることなどが評価できる。
- ・利用者のニーズに合わせた提案事業を実施し、利用者満足度の向上を図られたことが評価できる。